

基本目標 まちづくりの原動力となるひとづくり

1 政策 生涯を通じた学びと自己実現の促進

2 施策 1 スポーツ・レクリエーション活動の推進

【町民ニーズ】

- スポーツ施設は、不具合箇所の修繕のみならず、質的向上やスポーツイベントに適した照明、音響設備の設置など、高質な環境整備を求める声が高まっています。
- 公共スポーツ施設は、週末や休日に利用希望者が集中する傾向にあり、施設数の増加を望む声があります。
- 町の認知度向上や魅力発信を目的に取り組んでいるBMXやスケートボードについて、町内外の関心が高まっています。

運動・スポーツの実施割合（年代別）

年代	運動している人 (%)	運動していない人 (%)
20才未満	~85	~15
20代	~75	~25
30代	~65	~35
40代	~60	~40
50代	37.6	62.4
60代	~55	~45
70代以上	~45	~55

町内イベントの参加傾向（年代別）

年代	参加したい人 (%)	参加したくない人 (%)
20才未満	~60	~40
20代	62.1	37.9
30代	~50	~50
40代	~45	~55
50代	~40	~60
60代	~35	~65
70代以上	~30	~70

【町を取り巻く環境（課題等）】

- スポーツ施設のニーズに対し、施設の経年劣化が進んでいます。
- 仕事・育児・家事が忙しくて時間がない、機会がないことが理由で40～50才代の運動不足が懸念されています。
- 20才代は町が主催する教室やイベントには興味がないが、運動はしている傾向にあります。
- 中学校の運動部活動は、少子化の影響により一校でチーム編成できない場合や、自分がやりたい競技、種目がない場合もあり多様なスポーツにふれる機会が提供できていません。

【施策目標（目指す姿）】

豊かなスポーツライフを通して人と地域がつながり、だれもがいつでも身近にスポーツに親しみながら元気なまちで元気に暮らしている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
週1日以上運動・スポーツを楽しむ人の割合（%）	44.3(R元)	48	50	52	54

3 すべての人に健康と福祉を

11 住み続けられるまちづくりを

具体的な取り組み ～事務事業～

① スポーツ活動応援事業

【事務事業目標】  
町が提供する機会をきっかけにさまざまなスポーツにふれる機会を得ている。

【目標指標（単位）】  
スポーツ教室・イベントの参加者数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
1,615 (R元)	1,680	1,745	1,810	1,875

スポーツ大会の参加者数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
592 (R元)	616	640	664	688

【取組概要】  
スポーツ教室、イベント、大会のを充実や、競技力向上のための支援を行います。また、地域のスポーツ団体等との連携を推進します。

② スポーツ施設活性化事業

【事務事業目標】  
スポーツ施設を拠点に日常的に運動やスポーツを楽しむ人が増加している。

【目標指標（単位）】  
スポーツ施設利用者数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
330,408(R元)	248,900	274,350	324,200	361,400

【取組概要】  
公共スポーツ施設の不具合の改善や指定管理者制度を導入することで、保全対策、整備の充実、利便性の向上を図ります。



基本目標	まちづくりの原動力となるひとづくり	
1	政策	生涯を通じた学びと自己実現の促進
	2	生涯学習・地域文化の推進

【町民ニーズ】

- ・ 町民一人ひとりが生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の充実が求められています。
- ・ 学習した成果が適切に評価され、それを生かした様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりが求められています。
- ・ 町民が自主的に文化活動に参加できる機会の拡充と支援が求められています。



【町を取り巻く環境（課題等）】

- ・ 町民の多様化する学習ニーズに対応できるよう、学ぶ環境を整備する必要があります。
- ・ 生涯学習を担う人材の活用を支援する必要があります。
- ・ 文化活動への若い世代の参加が少ないため、各団体の会員増への取り組みや若い世代の参加を促せるよう事業を工夫する必要があります。
- ・ インターネットによる動画配信サービス等の普及により、個人で学習する機会が充実してきている中で、町内で行う生涯学習や地域文化の価値や在り方の再認識が重要です。



【施策目標（目指す姿）】

町民のだれもが自由に学習活動や文化活動に参加し、その成果が個人の生活や地域での活動等に生かされている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」登録者数（人）	33(R元)	35	37	39	40
地域間交流支援団体の構成員数（人）	41(R元)	45	45	45	45



具体的な取り組み ～事務事業～

① 生涯学習振興事業

【事務事業目標】 町民が自主的・主体的に学ぶ機会、教える機会を得ている。	【目標指標（単位）】 町民大学等各種講座参加者数（人）				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	19,950(R元)	20,000	20,000	20,000	20,000
【取組概要】 様々な媒体を活用して学習情報を提供します。生涯学習を支える人材の発掘や育成を進めます。					

② 地域文化振興事業

【事務事業目標】 町民が自主的・主体的に文化活動をしている。	【目標指標（単位）】 文化事業等参加者数（人）				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	6,615(R元)	7,000	7,000	7,000	7,000
【取組概要】 寒川町文化祭等を開催し、町民が地域文化に触れる機会を提供します。町内の文化団体の活動を支援します。					

③ 地域間交流促進事業

【事務事業目標】 町民が町外住民や外国人と交流し、地域間の違いを知り、寒川町の地域文化を再認識している。	【目標指標】 地域間交流事業参加者数（人）				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	3,541(R元)	2,500	2,500	2,500	2,500
【取組概要】 町民の姉妹都市交流活動を支援します。さむかわ国際交流協会の事業を支援します。					

寒川町の姉妹都市：寒河江市

平成2年（1990年）に町制50周年を記念して、山形県寒河江市と姉妹都市を締結しました。

基本目標 **生涯にわたって自分らしく暮らせるまちづくり**

政策 **健康寿命の延伸**

1 施策 **1 生涯を通じた健康づくりの充実**

【町民ニーズ】

- 一人ひとりが生涯にわたって健康を維持したいと思っている。
- 健康寿命の延伸のためには地域や人とのつながりが必要と思っている。
- 健康維持のため、健診の受診や食事・体を動かすこと・睡眠に重点を置いているため、栄養や運動・睡眠についての講座に需要がある。
- 健康を維持するため測定や体験型の講座について受講者が多く、要望がある。

健康の維持・増進のために、どのような事に重点をおいて取り組んでいますか。

がん検診受診率 (H29)

	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
寒川町	6.1%	14.1%	16.2%	4.4%	7.3%
神奈川県	6.9%	9.0%	9.1%	13.5%	11.5%

(厚生労働省のがん検診受診率等に関するワーキンググループ報告書の第2指標を基に算出)

【町を取り巻く環境 (課題等)】

- 全国平均と比較すると町の不健康期間が長い。
- ひとや地域のつながりを継続的に維持していくため、ニーズに合わせた事業の実施と参加を促すことが必要。
- がん検診受診率は胃がんは県平均と比べ低い。
- 寒川町における外来医療費の20.6%は生活習慣病関連 (糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患) である。生活習慣病の治療は生涯続くため、町の社会保障費に大きく影響する。
- 75歳以上の医療費の上位に骨折が入っている。

【施策目標 (目指す姿)】

町民の健康寿命が延伸している。  
町民が日常生活の中で自主的に健康づくりに取り組んでいる。

目標指標 (単位)】	基準年	R3	R4	R5	R6
平均自立期間 (歳)	男性80.2 女性83.5 (H30)	男性:80.2 女性:83.5	男性:80.3 女性:83.6	男性:80.4 女性:83.6	男性:80.5 女性:83.7
骨密度測定結果で骨粗しょう症が疑われる割合	17.2(R2)	17.0	17.0	16.0	16.0
胃がん検診受診率口	4.7(R元)	4.7	4.8	4.8	4.9
外来医療費のうち糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患が占める医療費の割合 (%)	20.6(R元)	20.5	20.5	20.4	20.4

3 子育て・高齢者  
健康と福祉

具体的な取り組み ~事務事業~

① 健康づくり事業

【事務事業目標】  
町民が健康づくりを通じて、ひとや地域とつながる機会を得ている。  
胃がんの検診受診者が増えている。  
骨粗しょう症の減少により、高齢者の骨折が減っている。

【目標指標 (単位)】  
健康づくり体操の日参加者数(人)

基準年	R3	R4	R5	R6
1,005 (R元)	1,005	1,030	1,055	1,080

事業展開において連携した関係団体 (機関) 数

基準年	R3	R4	R5	R6
0 (R2)	2	5	5	6

【取組概要】  
健康づくり体操の日を開催します。  
事業展開において連携した関係団体数を増やします。  
胃がん検診を実施します。  
骨粗しょう症予防事業参加人数を増やします。

胃がん集団検診受診者数 (人)

基準年	R3	R4	R5	R6
284(元)	284	314	314	344

骨粗しょう症予防事業参加人数 (人)

基準年	R3	R4	R5	R6
58 (R2)	60	150	200	200

② 特定健康診査事業

【事務事業目標】  
町民が生活習慣病の発症及び重症化を適切に予防している。

【目標指標 (単位)】  
特定健康診査受診率 (%)

基準年	R3	R4	R5	R6
45.0(R2)	47.0	49.0	50.0	50.0

【取組概要】  
受診者、未受診者の要因分析を行い、実態に即した受診勧奨を行います。

③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

【事務事業目標】  
町民がフレイル及び生活習慣病重症化を適切に予防している。

【目標指標 (単位)】  
高齢者健康診査受診率 (%)

基準年	R3	R4	R5	R6
36.1(R元)	38.0	40.0	40.3	40.5

【取組概要】  
現場出張型の健康づくり啓発により、受診勧奨を直接促します。  
関係機関との連携体制を強化し、効果的に健康づくりの意識の醸成を図ります。

フレイルとは  
日本老年医学会が2014年に提唱した概念で、「Frailty (虚弱)」を意味します。健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指しますが、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性があります。



基本目標 **生涯にわたって自分らしく暮らせるまちづくり**

政策 **健康寿命の延伸**

1 施策 **2 高齢者の健康づくりの充実**

**【町民ニーズ】**

- 要介護・要支援・フレイル状態にならないために身体機能の維持に対する支援のニーズが高まっています。
- 自立した生活を送り続けるための知識やアドバイスを身近なところで得ることで生活を維持したいと考えている人がいます。
- 本人・配偶者及び同居する家族への認知症・介護保険制度に対する支援のニーズが高まっています。

**【町を取り巻く環境（課題等）】**

- 体を定期的に動かす機会がありません。
- フレイル予防の普及、健康教育を一体的に行えていません。
- 人と話す機会が無く、家に閉じこもりがちになる高齢者が増えており、いざという時に頼れる人がいない状況があります。

寒川町高齢者アンケート  
問9（5）今後、健康づくりや介護予防の施策として充実していくことが必要だと思うことは何ですか（あてはまるもの3つまで選択）

施策	割合 (%)
認知症予防	45.0
相談窓口の充実	29.6
生活習慣病の予防	31.7
高齢期のうつ予防	10.0
食生活(栄養など)改善	19.2
口腔機能	10.8
気楽に集える場づくり	29.2
身体機能の維持	51.7
その他	1.3
無回答	6.7

回答者数 = 240

**【施策目標（目指す姿）】**

自分のことは自分でできる高齢者が増えている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
外に出かけない割合 (%)	4.2(R元)	-	3.8	-	-
シルバー人材センター会員の活動延べ人数 (人)	34,399 (R元)	33,606	34,817	35,423	36,029
シニアクラブ会員の事業参加延べ人数 (人)	4,740 (R元)	4,750	4,800	4,850	4,900
一体的実施事業で関わった団体の場での参加者数 (人)	-	30	40	40	50

3 すべての人に健康と福祉を

**具体的な取り組み ～事務事業～**

**① 介護予防事業**

**【事務事業目標】**  
地域とつながり外出する高齢者が増えている。動機となる運動自主グループの増加を目指す。

**【目標指標（単位）】**  
介護予防事業の参加延べ人数 (人)

基準年	R3	R4	R5	R6
6,617(R元)	5,464	5,560	5,672	5,768

**【取組概要】**  
元気はっけん広場、高齢者健康トレーニング教室で運動の場を提供し、自主運動グループの増加を支援するため介護予防講師の派遣を行います。

---

**② 高齢者社会活動推進事業**

**【事務事業目標】**  
高齢者が社会活動の場を通じて定期的に体を動かす機会と外出する機会を得ている。

**【目標指標（単位）】**  
シルバー人材センター会員数 (人)

基準年	R3	R4	R5	R6
278(R元)	308	325	343	362

**【取組概要】**  
シルバー人材センターの活動を支援し、高齢者の新たな仕事の掘り起こしを行い、会員の活動機会を増やすことができますようにします。

**【目標指標（単位）】**  
シルバー人材センター会員の活動実人数

基準年	R3	R4	R5	R6
251(R元)	259	267	274	282

---

**③ 高齢者生きがいづくり等支援事業**

**【事務事業目標】**  
高齢者が地域での生きがいを持ち、定期的な外出の機会を得ている。

**【目標指標（単位）】**  
シニアクラブ会員数 (人)

基準年	R3	R4	R5	R6
690(R元)	695	700	705	710

**【取組概要】**  
シニアクラブの活動を支援し、クラブの活性化を通じ、会員相互の親睦の機会を増やすことができますようにします。

**【目標指標（単位）】**  
シニアクラブ会員の実人数

基準年	R3	R4	R5	R6
708(R元)	619	647	661	675

---

**④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業**

**【事務事業目標】**  
高齢者が住み慣れた地域で一体的な保健指導や健康支援を受けている。

**【目標指標（単位）】**  
一体的実施事業で関わった団体数 (団体)

基準年	R3	R4	R5	R6
-	3	4	4	5

**【取組概要】**  
通いの場への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）を行い、フレイル予防啓発や健康教育を行います。





基本目標 **3** 政策 **2** 住環境の整備  
 施策 **1** 住環境の向上  
 ところ穏やかに暮らせる「まちづくり」

【町民ニーズ】

- 住宅の耐震診断や改修工事費用の負担が大きいことから、経済的な補助制度の継続及び充実が求められています。
- 空き家の適正な管理が求められています。
- 空き家所有者の悩みを解消する支援のニーズが高まっています。
- 安全で快適な道路移動空間の確保が求められています。

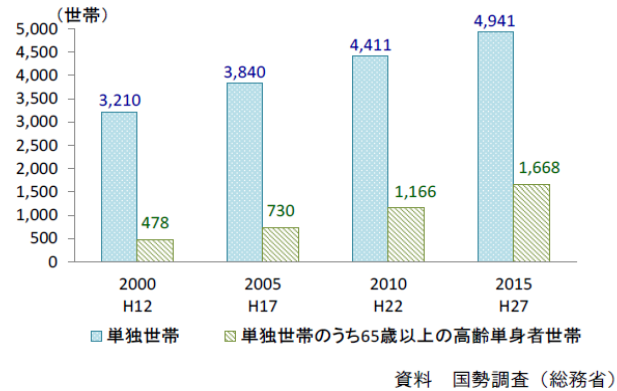
空き家所有者へのアンケート結果（抜粋）  
 「町に望むこと」（上位3位）

順位	設問	回答数	割合
1	解体時の経済的な支援	13件	15.1%
1	空き家バンク制度の創設	13件	15.1%
3	解体後の更地の減税措置	12件	14.0%

【町を取り巻く環境（課題等）】

- 住宅の耐震化の必要性について危機意識の醸成が必要。
- 耐震改修工事に必要な多額の費用が住宅耐震化の阻害要因となっている。
- 人口減少や既存住宅・建築物の老朽化、社会的ニーズの変化及び産業構造の変化等に伴い、空き家が増加することが予想される。
- 単独世帯のうち65歳以上の高齢単身世帯は年々増加しており、空き家を増やさない「予防」施策が必要とされている。

■ 本町の単独世帯数の推移



【施策目標（目指す姿）】

誰もが快適で安全安心な住環境が整っている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
住宅の耐震化率（%）	89	90	91	92	93
問題空き家の解体・活用件数（件）	0	5	5	5	5
特定空き家の件数	0	0	0	0	0



具体的な取り組み ～事務事業～

① 耐震改修促進事業

【事務事業目標】 震災に対する危機意識が高まり、耐震が進んでいる。	【目標指標】 無料耐震相談の申込件数				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	4	4	8	8	8

【取組概要】

- 建築士による無料耐震相談を実施します。
- 耐震診断や改修工事費用の一部を補助します。

② 空き家対策事業

【事務事業目標】 空き家による周辺の生活環境の悪化を防ぐため、空き家所有者が適切に対応できるようにする。	【目標指標】 空き家所有者から専門家への相談件数				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	0	2	4	6	8

空き家に対する苦情の解決率（%）

	基準年	R3	R4	R5	R6
	75	100	100	100	100

【取組概要】

- 空き家に係る相談体制を整備し、専門家団体等との連携による対策を進めます。
- 空き家所有者等へ適正管理依頼を行い、周辺の生活環境の保全に取り組みます。

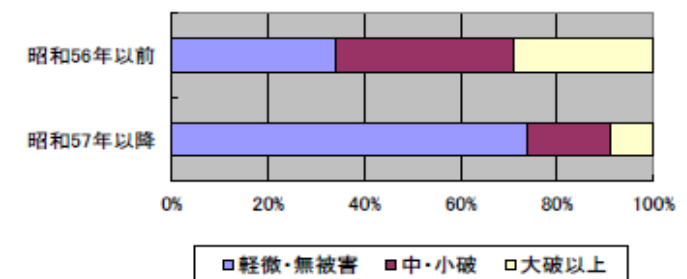
（参考）阪神・淡路大震災の被害等の状況

この被害状況を踏まえ、今後予想される大規模地震の被害を減少させ、ところ穏やかに暮らせる住環境を向上させるためには、新耐震基準導入前の建築物について耐震性の向上を図ることが重要です。

① 死因別死者数

	死者数
家屋、家具類等の倒壊による圧迫死と思われるもの	4,831 (88%)
焼死体(火傷死体)及びその疑いのあるもの	550 (10%)
その他	121 (2%)
合計	5,502 (100%)

② 建築物被害（新耐震基準導入前後比較）



平成7年度版「警察白書」より

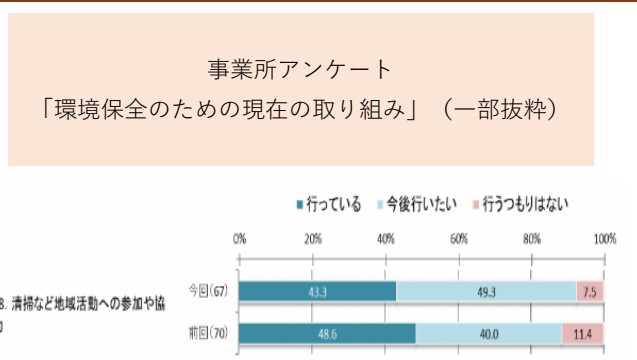
阪神・淡路大震災建築震災調査委員会報告書（平成7年）より



基本目標 **3** 政策 **2** 施策 **2** **こころ穏やかに暮らせるまちづくり**  
**住環境の整備**  
**地域美化の推進**

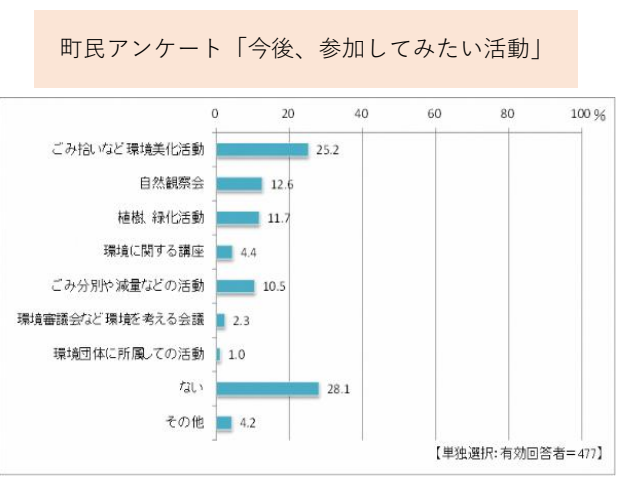
【町民ニーズ】

- ごみのポイ捨てに関する苦情が発生しており、散乱ごみや不法投棄のない美化環境づくりが求められています。
- 住民も事業所も気軽に参加でき、取り組みやすい美化活動の創出が求められています。



【町を取り巻く環境(課題等)】

- 事業所の約95%が「清掃など地域活動への参加や協力」を行うつもりがある中で、実際の活動につなげる必要があります。
- 町内一斉に実施する「まちぐるみ美化運動」は、自治会や団体のほか事業所の参加も定着してきています。
- 住居の敷地内などへのごみのポイ捨てに関する苦情が毎年発生しています。
- 町民が今後参加してみたい環境活動は「ごみ拾い」が最も多かったため、地域の住民が参加しやすい地域美化の取組が課題となっています。



【施策目標(目指す姿)】

地域で地域を美しくする意識が向上し、自主的に地域の住民及び事業所が公園や道路等をきれいな状態に保っている。

【目標指標(単位)】	基準年	R3	R4	R5	R6
自主的な環境美化活動の参加人数(人)	1,818(R元)	1,820	1,825	1,830	1,835
アンケート調査における「美化活動に参加している」割合	68.8(R2)	—	75.2	78.4	81.6

11 住み続けられるまちづくりを

具体的な取り組み ~事務事業~

① 地域美化活動推進事業

【事務事業目標】  
地域の住民や事業所が自主的に地域を清掃している。

【目標指標(単位)】  
自主的な環境美化活動の実施回数(回)

基準年	R3	R4	R5	R6
50(R元)	52	53	54	55

【取組概要】  
地域美化意識を啓発するとともに、ごみを捨てさせない環境づくりを進めます。事業所等に働きかけ、自主的に地域を清掃する活動につなげます。





基本目標 **安全・安心に暮らせるまちづくり**

4 政策 **安全・安心の充実**

1 施策 **2 消防体制の充実**

**【町民ニーズ】**

- 119番通報時の事案にいち早く現場に駆け付けるなど迅速かつ的確な対応により、町民の生命財産身体を守ることが求められています。
- 危惧される大規模災害に備え、地域の防災力を向上し、町民の生命財産身体を守ることが求められています。

救急件数

年度	件数
平成15年	1,832
平成27年	1,971
平成28年	2,151
平成29年	2,232
平成30年	2,159
令和元年	2,236

**【町を取り巻く環境（課題等）】**

- 救急搬送は、過去10年で増加しており、今後も高齢化の進行に伴う救急需要の増加が見込まれます。
- 将来の救急需要の増加を踏まえた十分な消防力は確保できていません。
- 消防団員の就業等の変化により、平日昼間の活動が困難な団員も多い状況です。



**【施策目標（目指す姿）】**

十分な消防力により町民の生命・財産・身体が守られ、町民が安心して暮らしている。地域の防災力が高く、町民が安心して暮らしている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
災害に対する受援件数（救急のみ）（件）	32 (R元)	27	10	7	5
現場到着平均時間（分：秒）	5:19(R元)	5:17	5:15	5:15	5:15
消防団活動延べ人数(人)	4,575(R元)	4,928	5,126	5,258	5,390

11 住み続けられるまちづくりを

**具体的な取り組み ～事務事業～**

**① 消防体制充実事業**

**【事務事業目標】**  
十分な消防力が確保されている。

**【目標指標（単位）】**  
部隊数（部隊）

基準年	R3	R4	R5	R6
3.5(R2)	3.5	19.0	19.0	19.0

**【取組概要】**  
令和4年度から寒川町の消防業務を茅ヶ崎市へ事務委託した。充実した消防体制を活用し、効率的・効果的な業務を遂行するよう調整する。

**② 消防団活動充実事業**

**【事務事業目標】**  
消防団員が十分に確保され、地域の防災力が向上している。

**【目標指標（単位）】**  
消防団員数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
174(R2)	175	176	177	178


**【取組概要】**  
様々な機会を捉え消防団員確保に努めます。各種訓練・研修等を実施します。

基本目標 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5 政策 都市インフラの最適化  
 1 施策 3 下水道の整備


**【町民ニーズ】**

- 近年の集中豪雨や都市化等による浸水被害により、水害に対する町民の意識が高まっています。
- 下水道整備（雨水）を進めることにより浸水被害の解消が求められています。



**【町を取り巻く環境（課題等）】**

- 近年、市街化の進展や集中豪雨の増加等に伴い、計画降雨50mm/hを超えるような降雨量が記録されています。
- 下水道の雨水排除能力を超える雨水流出が頻繁に生じており、過去の台風により床上及び床下の浸水被害が発生しています。



**【施策目標（目指す姿）】**

町民が浸水による被害を受けない。  
 ※基準年は平成26年10月の台風18号における既往最大降雨量72mm/h

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
床上浸水戸数（戸）	18(H26)	0	0	0	0
床下浸水戸数（戸）	88(H26)	0	0	0	0

11 住み続けられるまちづくりを

具体的な取り組み ～事務事業～

**① 下水道整備事業**

【事務事業目標】 町民が浸水による家屋被害を受けていない。	【目標指標（単位）】 小動幹線枝整備率(%)				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	62(R元)	66	68	69	72

**【取組概要】**  
 雨水の排水能力や貯留機能の向上のため、雨水幹線の整備を行います。

基本目標 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5 政策 産業基盤の整備

3 施策 3 農業の振興

【町民ニーズ】

- ・ 周辺農地の都市化に伴い、近隣住民に対する配慮が必要とされています。
- ・ 適正な農地規模を維持し、景観形成や、防災機能を保ち、生産性を高める必要があります。
- ・ 就農者の高齢化、後継者不足が深刻化し、農地の遊休地・荒地化などが懸念され、担い手の確保が求められています。
- ・ 農産物直売所「わいわい市」は活況を呈しており、今後も、新鮮で安心安全な食料等の安定供給に努め、更なる展望が望まれています。

【町を取り巻く環境（課題等）】

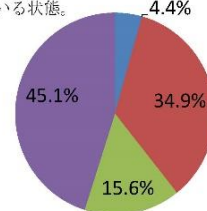
- ・ 本町農業を取り巻く環境は、都市化の進展とさがみ縦貫道路全線開通などに伴い、土地利用の多様化・混在化・細分化が進んでおり、農業生産環境は年々厳しさが増しています。
- ・ 農業経営は、多くの農家が農業所得のほか不動産等の農外収入により農業経営が維持できています。
- ・ 農業者の高齢化、担い手不足などにより、遊休農地が増加傾向にあります。



地域農業の将来に関するアンケート（H29. 5～6実施）  
対象 23生産組合員 回答181件  
あなたの地域の農業（人と農地）は、放っておくと10年後にはどのようなになっていると思いますか。（複数回答可）

- 1) 問題ない状態（耕作放棄地は発生せず、各世代の農業者によって持続的な農業が営まれている）
- 2) 農地が利用されず耕作放棄地の増加が問題となっている状態。
- 3) 地域を支える安定した経営体（個人・法人）がいなくなっている状態。
- 4) 若者の農業者が減少し、高齢化が一層進んでいる状態。

1	2	3	4	合計
13	103	46	133	295
4.4%	34.9%	15.6%	45.1%	100.0%



【施策目標（目指す姿）】

農業の生産性が向上し、農業経営が安定している。  
町民が農業に触れ合う機会を得ている。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
適正利用されている農地面積率（%）	98.4(R元)	98.5	98.5	98.6	98.6
直売所の出荷者数（人）	158(R元)	159	159	160	160



具体的な取り組み ～事務事業～

① 農業振興対策事業

【事務事業目標】

農業経営の安定化及び農業の振興、新規就農者等の担い手が確保されている。  
農用地を指定し、優良農地が確保されている。

【目標指標（単位）】

遊休農地面積（㎡）	基準年	R3	R4	R5	R6
	36,103 (R元)	34,000	33,000	32,000	31,000

【取組概要】

農業振興地域整備計画を改定します。  
農地パトロールを実施し、違反者への是正及び遊休農地の流動化を促進します。  
農業振興を図るための取組、支援、事業を実施します。

農用地の違反面積（㎡）

	基準年	R3	R4	R5	R6
	24,963 (R元)	23,000	22,000	21,000	20,000

② 農産物直売所活性化事業

【事務事業目標】

直売所が拡大されることにより、農業者の生産意欲が向上し、近隣からの集客も増え、町のにぎわいにつながっている。

【目標指標（単位）】

直売所数（箇所）	基準年	R3	R4	R5	R6
	25 (R元)	26	26	27	27

【取組概要】

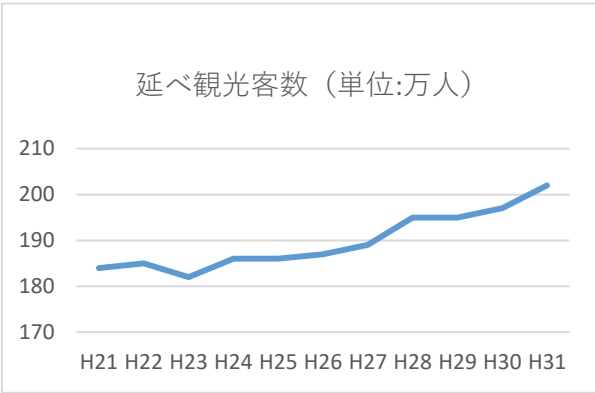
JAさがみと連携し適正な事業規模を検討します。  
関係機関と農用地除外、建築要件の調整を行います。



基本目標 時代に最適化したにぎわいのあるまちづくり

5 政策 産業基盤の整備  
3 施策 4 観光の振興

**【町民ニーズ】**  
 (町民ニーズ)  
 ・ 寒川神社の参拝客190万人が町内産業に出費してもらいにぎわいのある町にしてほしい。  
 ・ 寒川神社だけではなく、「寒川町はいい町」「魅力ある町」という印象をもってもらいたい。  
 (観光客)  
 ・ 寒川神社以外に高いサービスが受けられる場所があれば寄ってきたい。



延べ観光客数 (単位:万人)

**【町を取り巻く環境 (課題等)】**

- 相模川や年間190万人が訪れる寒川神社など、歴史的な資源の有効活用が観光振興に必要です。
- 寒川神社の参拝者は、町内を周遊していない状況にありますので、スマホなど手軽に情報収集できるような環境整備や情報発信が必要です。
- 縦貫道路が整備され、交通が便利になり、増加した自動車での来訪者を町内に周遊してもらう方が必要です。

さくらまつり	2,690
さむかわ神輿まつり	4,500
寒川びっちょり祭り	14,000
彼岸花まつり	20,000
冬のひまわり	4,800
寒川神社	1,975,661

**【施策目標 (目指す姿)】**

観光客数が増えている。  
観光客が町内を周遊している。

【目標指標 (単位)】	基準年	R3	R4	R5	R6
主催・共催・協力観光イベント来場数 (人)	45,990(R元)	46,000	46,000	48,000	48,000
観光客数(万人)	202(R元)	198	198	200	200

8 働きがいの経済成長

具体的な取り組み ~事務事業~

**① 観光推進事業**

【事務事業目標】 観光に地域資源が生かされている。 観光協会や各団体と連携した観光事業が行われている。	【目標指標 (単位)】 観光に関するメディア露出件数(回)				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	-	50	50	50	50
【取組概要】 近隣3市3町、県、各観光協会と連携した観光推進事業を創出します。 観光協会や各団体と事業開催に向けて協力・支援等を行います。 外国人の受け入れ環境整備や誘客事業を実施します。	観光事業実施数(回)				
	基準年	R3	R4	R5	R6
	5 (R元)	5	5	5	6
外国人誘客事業数(件)					
基準年	R3	R4	R5	R6	
	2 (R元)	2	2	3	3

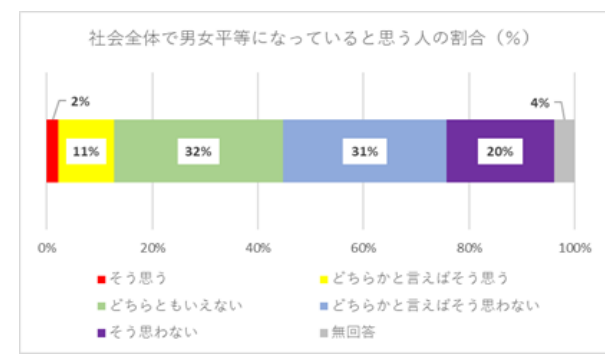


基本目標 まちづくりのための基盤づくり

6 政策 つながる力の促進

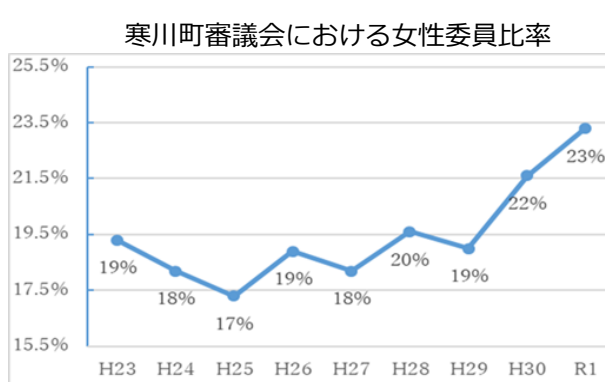
1 施策 2 多様な主体によるまちづくりの推進

- 【町民ニーズ】
- ・ 人権が尊重され男女が平等な社会づくりが求められています。
  - ・ 自らの意思で社会のあらゆる分野に参画できる仕組みづくりが求められています。
  - ・ ライフスタイルの多様化に対応し、いきいきと安心して暮らせるために人々の連帯意識を醸成することが求められています。
  - ・ **LGBTQ（性的マイノリティ）をはじめとする多様性への理解が進み、自分らしく生活できる社会づくりが求められています。**



男女共同参画社会に関するアンケート (R元)

- 【町を取り巻く環境（課題等）】
- ・ 性別による固定的な役割分担意識が根強く残っています。
  - ・ 職場・地域・家庭・学校などで男女の人権尊重、男女共同参画社会の意識づくりを一層推進する必要があります。
  - ・ 共働き世帯の増加、少子高齢化など、家庭を取り巻く状況の変化に対応した環境整備が求められています。
  - ・ **LGBTQ（性的マイノリティ）をはじめとする多様性への理解を推し進める必要があります。**



【施策目標（目指す姿）】

すべての町民が**お互いの人権を尊重し**、価値観・多様性を認め合い、その能力が発揮できる社会が実現している。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
社会全体で男女平等になっていると思う人の割合 (%)	12.6(R元)	-	-	20.0	-
講座内容を今後の生活に取り入れたいと回答した人の割合 (%)	-	70	75	80	85

5 ジェンダー平等を実現しよう

10 人や国の不平等をなくそう

具体的な取り組み ～事務事業～

① 男女共同参画推進事業

【事務事業目標】  
男女共同参画社会への理解が進んでいる。

【目標指標（単位）】  
男女共同参画に関する講座の参加者数（人）

基準年	R3	R4	R5	R6
113(R元)	100	100	100	100

【取組概要】  
講演会等のさまざまな機会を通じた啓発や人材育成を行います。

基本目標 **まちづくりのための基盤づくり**

政策 **持続的かつ健全な行財政運営**

2 施策 **1 自律的な行財政運営**

**【町民ニーズ】**

- これまでと同等、もしくはこれまで以上の行政サービスが望まれています。
- 信頼できる行財政運営が求められています。
- 町の魅力発信（ブランディング）を重要と感じる人が多く、それが充分でないと感じる人が多いです。

**【町を取り巻く環境（課題等）】**

- 今後、少子高齢化が進行するとともに人口減少に陥ることが見込まれます。
- 生産年齢人口の減少による税収の減少や、高齢化による扶助費の増が懸念されます。
- 若い世代の定住意向を高くする必要があります。
- 行政サービスへの不満が原因の転出意向を減らす必要があります。

**【施策目標（目指す姿）】**

町が持続可能な人口及び人口構成を確保している。  
様々な社会環境に対応し、安定的な財政状況を維持している。

【目標指標（単位）】	基準年	R3	R4	R5	R6
生産年齢人口（人） （各年3月31日時点）	29,189 （R元）	28,710	28,615	28,454	28,388
高齢化率（%） （各年3月31日時点）	27(R元)	28	28	28	28
転入者数（人） （各年3月31日時点）	2,016 （H23-R元の平均）	2,100	2,100	2,100	2,100
ふるさと納税による寄附受入金額（単位：千円）	27,838 （R元）	40,000	40,000	40,000	40,000

11 住み続けられるまちづくりを

**具体的な取り組み ～事務事業～**

**① マーケティング推進事業**

**【事務事業目標】**  
町民の町施策に対する満足度が向上している。

**【目標指標（単位）】**  
町施策に対する住民の満足度（%）

基準年	R3	R4	R5	R6
27.5(H29)	36.7	-	-	45.9

**【取組概要】**  
町民のニーズや本質を捉えるため、マーケティングを実施、施策に反映します。

マーケティングにより生み出す新たな取り組み件数（件）

基準年	R3	R4	R5	R6
3(R2)	1	1	1	1

---

**② ふるさと納税推進事業**

**【事務事業目標】**  
寄附を募るための魅力的な返礼品メニューが充実している。

**【目標指標（単位）】**  
ふるさと納税の返礼品メニュー数（個）

基準年	R3	R4	R5	R6
98(R2)	100	105	110	115

**【取組概要】**  
町の特産品等をふるさと納税の返礼品として取り扱い、ふるさと納税サイトを通じ全国から寄附を募ります。

---

**③ 広報プロモーション活動事業**

**【事務事業目標】**  
町内外の人が寒川町に対して暮らしの場としていいイメージを持っている。

**【目標指標（単位）】**  
町に対して良いイメージを持って転入した人の割合（%）

基準年	R3	R4	R5	R6
59%(R元)	61%	75%	77%	79%

**【取組概要】**  
町外住民に向けた移住プロモーション活動を展開します。町内へのプロモーションにより、町に対する誇りと愛着の醸成を図ります。

町民のブランドスローガン『「高座」のこころ。』認知度（%）

基準年	R3	R4	R5	R6
31%(R元)	-	33%	-	35%